

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

シリーズ景観48

～『みんなで残したい松江の景観400選集』から景観審議会が特にお薦めする景観～

— No.265 松江城と桜 —

— No.269 夏の松江城 —



No.265 松江城と桜



No.269 夏の松江城

「桜の松江城は、心静かに歩くいつもの松江城がぐんと明るく彩られ、心浮き立つ景観です」「松江の観光地を代表する松江城。その美しく風格のある佇まいは見る者に感動を与えること間違いなしです。国宝になることを願っています」と推薦いただきました。

『みんなで残したい松江の景観400選集』を刊行した23年12月には、国宝化に向けて市民の機運が高まってきており、推薦文にも気持ちが表れています。天守の完成時期を示す1611(慶長16)年の年号を記す祈祷札2枚が再発見されたことが決め手となり、27年7月8日晴れて国宝に指定されました。

国宝指定により観光客が大幅に増え、27年の登閣者数は前年に比べて11万7000人多い、49万4000人に上っています。松江城天守は歴史と文化の象徴として親しまれており、市民の誇りでもあります。今後も四季折々で見せる荘重優美な姿で訪れる人々を魅了することでしょう。

「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。
【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索

